

# 有害プランクトン情報 (令和元年度 - No. 2)

千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所・生産技術研究室  
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月1回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合
 

5月 第1回	内湾 (8地点)	5/7	内房 (7地点)	5/7
5月 第2回	内湾 (8地点)	5/20	内房 (7地点)	5/22
- 貝類漁場内
 

九十九里	5/6,13,25,30	千葉北部	5/8,15,20,30	木更津北部	5/9,15,22,30	木更津南部	5/9,16,22,30	富津	5/8,15,22,29
------	--------------	------	--------------	-------	--------------	-------	--------------	----	--------------

### 【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上) は第1回に検見川沖で確認されました。  
※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL を超えた場合に注意報を発出します。

### 【貝毒プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンの最高細胞密度は、アレキサンドリウム カテネラが 5/13 に一部の貝類漁場で 45.20 細胞/mL でした。この時の貝類検体から麻痺性貝毒は検出されませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンの最高細胞密度は、ディノフィシス アキュミナータが 5/7 に船橋で 18.125 細胞/mL, ディノフィシス ロツンダータが 5/20 に千葉灯標で 0.40 細胞/mL, ディノフィシス カウダータが 5/7 に富浦で 0.05 細胞/mL でした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

### ○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

- |      |    |      |  |      |
|------|----|------|--|------|
| 5/7  | 内湾 | 渦鞭毛藻 | プロロセントラム                                       | ミニマム |
|      |    | 珪藻   | レプトキリンドルス属 (図1), シュードニッチア属, スケルトネマ属            |      |
|      | 内房 | 珪藻   | キートセロス属, レプトキリンドルス属                            |      |
| 5/20 | 内湾 | 珪藻   | ダクチリオソレン属 (図2), シュードニッチア属, レプトキリンドルス属, スケルトネマ属 |      |
| 5/22 | 内房 | 珪藻   | キートセロス属, シュードニッチア属, ダクチリオソレン属                  |      |

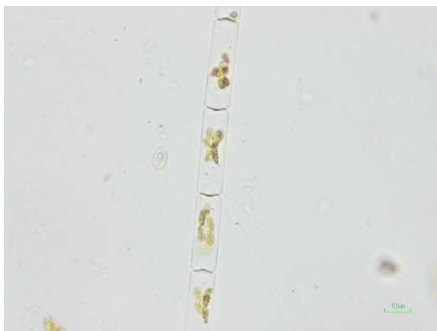
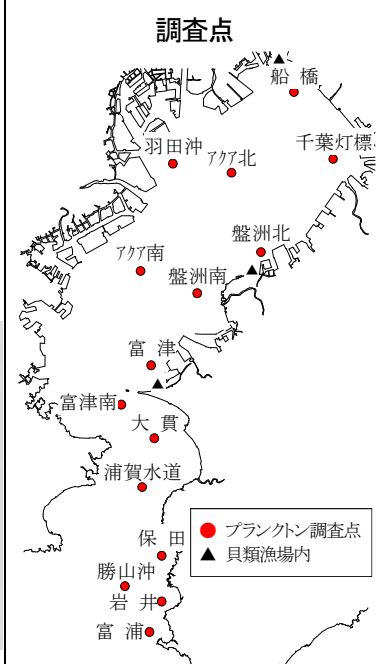


図1 レプトキリンドルス属 (5/7 千葉灯標)



図2 ダクチリオソレン属 (5/20 船橋)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所  
〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp